

首尾能く申辭職する所を
幸大御公國有御給申物
拂下米々々世傳云々
不うば

勅諭且西清の御書にて一課
結拜と云々やいと今度の
政界由り申す其維新法
ちこそ受取思ひ一筆書
己の御書起るものある
り交福告を却て火番
登りぬも針ら進ん
勢一山傍記の方面
世の中借もとて
様趣と云々
大分在葉舟
如く申す上
し世態は
所々
私向
○
年未
善
此
誇り
珍
し
子
何
を
下
政

十月六日退 言柳長貞

大隈大君
閣下